

民鉄文化の伝承と発信

[民営鉄道の博物館・資料館 — その使命と役割 —]

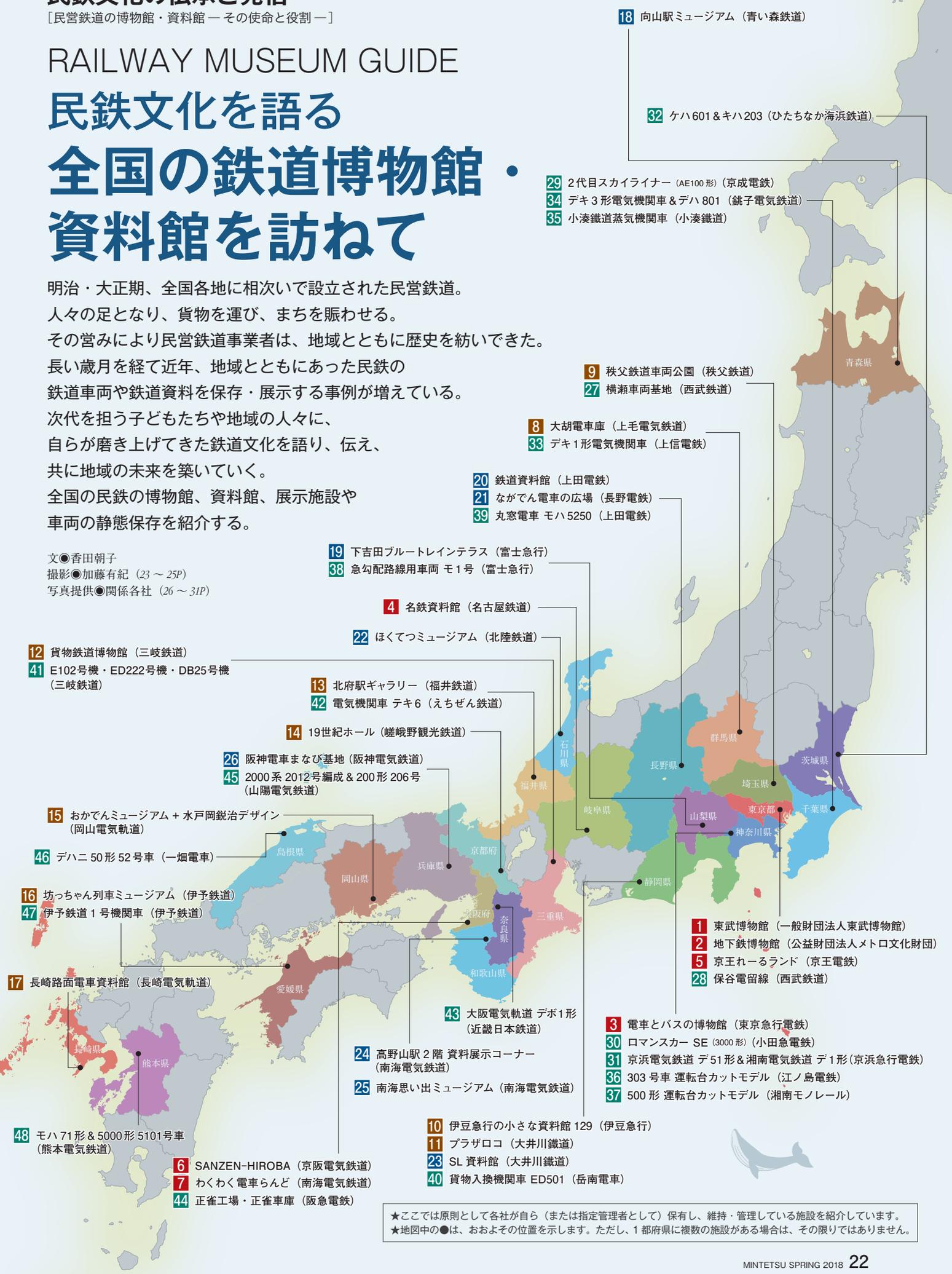
RAILWAY MUSEUM GUIDE

民鉄文化を語る

全国の鉄道博物館・資料館を訪ねて

明治・大正期、全国各地に相次いで設立された民営鉄道。人々の足となり、貨物を運び、まちを賑わせる。その営みにより民営鉄道事業者は、地域とともに歴史を紡いできた。長い歳月を経て近年、地域とともにあった民鉄の鉄道車両や鉄道資料を保存・展示する事例が増えている。次代を担う子どもたちや地域の人々に、自らが磨き上げてきた鉄道文化を語り、伝え、共に地域の未来を築いていく。全国の民鉄の博物館、資料館、展示施設や車両の静態保存を紹介する。

文●香田朝子
撮影●加藤有紀 (23 ~ 25P)
写真提供●関係各社 (26 ~ 31P)



★ここでは原則として各社が自ら (または指定管理者として) 保有し、維持・管理している施設を紹介しています。
★地図中の●は、おおよその位置を示します。ただし、1都府県に複数の施設がある場合は、その限りではありません。



京王線・井の頭線の車両5両を並列に展示。ミニ電車が車両展示の外周を走る(有料:1回100円)。



電車目線で動き回る「アスレーるチック」。



京王沿線の街並みが再現されたジオラマ展示。実物の運転台で鉄道模型を運転できる(有料:1回100円・5分)。

ほんものに触れて、遊びを通して学ぶ鉄道博物館

京王れーるランド

5



東京都日野市程久保 3-36-39

- 最寄り駅 京王線 多摩動物公園駅(下車すぐ)
- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
- 入場料 250円(3歳以上)



小型の運転体験シミュレーター。



*電車のしくみ、を学ぶコーナーには、子ども用の制服も用意。新型車両5000系に乗車して記念撮影ができる。



6000系のカットモデルを使用した大型の運転体験シミュレーター。難易度、列車種別などさまざまな走行を体験できる(有料:1回300円)。

「京王れーるランド」は、京王電鉄開業100周年を記念して、2003年3月に設置された展示施設を、屋外車両展示場を含む2階建ての本格的な施設に改装した鉄道博物館で、13年10月にオープンした。

屋根付きの屋外車両展示場には、1940年代から運行していた往年の車両2400形など、現役を退いた京王線・井の頭線の名車5両が並び、一部の車両を除いて車内も自由に見学できる。また、車両展示場には外周を一回りできるミニ電車の線路が敷かれている。ミニ電車に乗って展示車両をゆっくり眺める、そんな楽しみ方もできそうだ。

屋内の展示施設は、1階が「鉄道の仕組みを学び・触って・体験できるフロア」で、体験アトラクションや鉄道模型ジオラマ、バス展示などで構成されている。実車のカットモデルを使用した運転体験コーナーや車掌体験コーナー、実物の運転台機器を使って鉄道模型を走らせるジオラマ展示など、本物の車両部品に触れたり、映像を見ながら、鉄道の仕事や電車の仕組みを学ぶことができる。

2階は「安心して遊べるキッズフロア」で、カーペット敷きのスペースに設けられた「プラーレルで遊ぼう」と、鉄道施設をイメージした遊び場の「アスレーるチック」を中心に、小さな子どもたちが安心して楽しめる空間が広がっている。

親子連れに人気で、年間の来館者数は約18万人となっている。入館が自由にできるので、休日など京王れーるランドで1日を過ごす家族も多いという。



京阪電車を見て、知って、体験できるSANZEN-HIROBA。



大阪から京都・滋賀まで、京阪沿線の魅力を再現した「京阪沿線ジオラマ」。



本物の運転台でハンドルを操作すると、正面のスクリーンや側面のビジョンの映像が動き、走行音もリアルに再現される(有料:2,000円・20分)。



ジオラマでは街並みのなかを走る鉄道模型を運転することができる(有料:200円・3分)。



運転シミュレーターは、8000系特急車両と2600系車両の2種がある(有料:300円・約5分)。

6



大阪府枚方市楠葉花園町 10-85
KUZUHA MALL 南館 ヒカリノモール1階

- 最寄り駅 京阪本線 樟葉駅 (下車すぐ)
- 営業時間 10:00 ~ 21:00
- 休館日 年中無休
- 入場料 無料



全89駅の現在と昔の写真を展示した「京阪電車全線全駅いま・むかし」。

見て、体感して 鉄道とまちの記憶を今に伝える SANZEN-HIROBA

京阪電車が長年にわたり開発に取り組んでいる樟葉。「KUZUHA MALL」は、同社が1972年に開業した「くずはモール街」をリニューアルした広域型のショッピングセンターで、2014年3月にグランドオープンした。「SANZEN-HIROBA」は同モール南館に開設されたミュージアムゾーンだ。ここには、くずはモール街開業と同じ年にデビューし、13年3月末に引退した「旧3000系」の先頭車両がデビュー当時の「テレビカー」として復活。展示に当たっては、デジタル動態保存を実現している。「デジタル動態保存」とは、運転シミュレーター機能を備え、運転操作に合わせて画像や走行音が流れ、リアルな体験が楽しめるというもの。車内には併設のプラットホームから出入りして自由に見学できる。

広場は、旧3000系車両のほか、鉄道模型ジオラマ、運転シミュレーターを設置し、さまざまな展示で京阪電車のあゆみや沿線の移り変わりを紹介する「レイルゾーン」、ステージや大型ビジョンを活用して各種イベントを開催する「イベントゾーン」、二つのゾーンで構成されている。これまで公開されることなく保管されていた貴重な資料や展示物も多く、樟葉のまちと京阪電車が歩んできた歴史や文化を、肌で感じ取ることができる。

まだ幼い子どもたちには「新しい発見」の楽しみがあり、その両親や祖父母の世代には「懐かしさ」を感じさせる。地域の記憶を楽しむ、地域の未来を思い描く、そんな体験型のミュージアムとなっている。

7



大阪府泉南郡岬町淡輪 3990 番地

- 最寄り駅 南海本線 みさき公園駅（みさき公園内）
- 開館時間 9:30～17:00 ※冬季は短縮営業 ※状況により開園時間・閉園時間を変更 ※最終入館は営業終了の20分前まで
- 休館日 不定期 ※みさき公園HPにて、みさき公園の営業日を確認
- 入場料 400円（3歳以上） ※みさき公園の入園料が別途必要

鉄道の仕事を学ぶ 子ども向け 鉄道体験施設 わくわく電車らんど



10000系特急サザンの運転席。



車掌体験ができる旧塗装の7000系。扉の開閉の仕組みを見ることができるのポイント。



ラピートは実物大の模型。運転席には運転士シミュレーターが設置されている。



実写を使ったリアルなシミュレーターは子どもたちに一番の人気。



長さ約5mのカット車両が並ぶ。どの車両も中に入り、運転機器や操作機器を動かすことができる。

南海電鉄が創業70周年を記念して1957年4月に開園した「みさき公園」は、大阪湾に面する広さ28・8haの敷地に、遊園地、動物園、イルカショーのほか、夏季の屋外大型プールを擁する複合型レジャー施設。2014年9月、ここに新たに子ども向け鉄道体験施設「わくわく電車らんど」が開業した。屋内に入らずに飛び込んでみるのが、実際に使用していた10000系特急「サザン」と新塗装・旧塗装の7000系、それに実物大模型の特急「ラピート」を加えた4両のカット車両。それぞれ長さが約5mあり、ラピートは実車と同じ塗料で塗装されている。限りなく本物に近い精巧な実物大模型だ。

これらの展示車両では、運転席に座ってブレーキハンドルを実際に操作したり、扉の開け閉めや車内放送などの車掌体験ができる。また、ラピートでは運転席に設置されたシミュレーターでリアルな運転体験を楽しむことができ、子どもたちの人気を集めているという。

このほか、運転指令室で使用されていた列車運行表示盤や実際に使われていたヘッドマーク、鉄道部品などの展示品もあり、鉄道の仕事についての質問には南海電鉄のOB社員が解説する。

遠足や社会科見学で訪れる幼稚園、小学校も多く、要望があれば、屋外に設置された本物の踏切や信号機を活用して、交通ルール教育・啓発活動も行っているそうだ。

地方民鉄の 鉄道資料館・ギャラリー

—— 地域と紡いできた歴史をいまに伝える。

かつて活躍した蒸気機関車や電気機関車、電車を往時のままに保存し、
鉄道の歴史をたどる資料や写真を展示、公開する。

それぞれの地域の「鉄道の文化」をいまに伝える

地方民鉄の鉄道資料館・ギャラリーは、

訪れる人々に地域の変遷を伝える貴重な情報の場ともなっている。



8 おおこ 大胡電車庫

1928年の開業時に建設された木造電車庫。駅舎や変電所とともに国の登録有形文化財に登録されている。当時のままの機械工作室や開業当時から走るデハ101、デハ104を公開。また、東急より譲り受けた電気機関車のほか、昔の鉄道部品や写真、記念ヘッドマークなどを展示する「記念資料館」を検修係員の案内で見学できる。

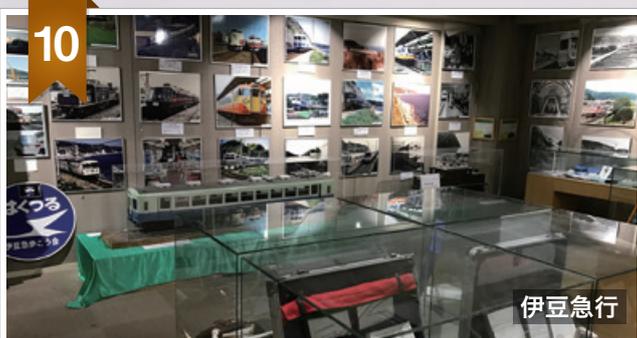
- 最寄り駅 大胡駅（大胡駅西側徒歩1分）
- 開館時間 13:00～15:00・30分程度の見学（要予約）
- 休館日 年中無休 ●入場料 170円（記念の台紙付き硬券入場券付き）



9 秩父鉄道 秩父鉄道車両公園

秩父鉄道創立90周年事業として、1989年に開園した鉄道公園。秩父鉄道で活躍した電気機関車や貨車など10種類の車両が展示されている。パレオエクスプレスの運行日には、園内の転車台で行われる蒸気機関車の方向転換作業を間近に見ることができ、多くの鉄道ファンや家族連れが訪れる。

- 最寄り駅 三峰口駅（徒歩1分） ●開園時間 9:00～17:00
- 休園日 年中無休
- 入場料 無料



10 伊豆急行 伊豆急行の小さな資料館 129

1961年の開通以来、伊豆とともに生きてきた伊豆急行の歴史をたどる資料館。開通当時の時刻表や記念切符、歴代車両のパネル写真や模型、引退した200系や初代リゾート21の運転台にあった計器類など、伊豆急行の歴史を物語る数多くの品々が展示されている。伊豆急行線電車のDVDも放映。

- 最寄り駅 伊豆高原駅（駅構内「やまもプラザ」2階）
- 開館時間 9:30～17:00 ●休館日 年中無休
- 入場料 無料



11 大井川鉄道 プラザロコ

1997年に開業した複合施設。ドイツ・コッペル社製の小型SL2両と井川線で使われていたCスロフ形客車を展示し、SL2両はともに運転台に入ることできる。昭和30年代の駅舎を模した展示コーナーのほか、鉄道模型やSLに関連したグッズも展示。館内にはSL乗車券の販売窓口や土産物店が併設されている。

- 最寄り駅 大井川本線 新金谷駅（駅前） ●開館時間 9:00～17:00
- 休館日 年中無休
- 入場料 無料

12



三岐鉄道

貨物鉄道博物館

日本初の鉄道貨物専門の博物館として2003年に開館。未来技術遺産に登録された貨車をはじめ、産業文化遺産として後世に残すべき貴重な貨車、機関車、コンテナ等を保存展示し、貨物関係資料、貨車の部品などを収蔵している。管理運営は、各地から集まったボランティアたちにより行われている。管理者/特定非営利活動法人 貨物鉄道博物館

- 最寄り駅 三岐線 丹生川駅 (駅に隣接)
- 開館日 毎月第1日曜日(1月のみ第2日曜日) ●開館時間 10:00~16:00
- 入場料 無料 ※屋外の展示車両は随時見学可能。

13



福井鉄道

北府駅ギャラリー

1924年開業の北府駅。大正時代の雰囲気を残す駅舎は、国の登録有形文化財に指定されている。駅舎内に設けられたギャラリーには、福井鉄道の歴史を伝える資料や歴代車両の写真、実際に使われていた200形の車両部品や工具、駅の備品など、貴重な資料約120点が展示されている。

- 最寄り駅 福武線(鉄道) 北府駅(駅舎内) ●開館時間 見学時間自由
- 休館日 年中無休
- 入場料 無料

14



嵯峨野観光鉄道

19世紀ホール

5両の蒸気機関車が保存されている。ホールの入り口には、SLの動輪を使ったモニュメントとともに、迫力ある勇姿のD51ナメクジ型を展示。ホール内にはD51、C56、C58、そして旧国鉄時代の鷹取工場で技術者養成のための教材として使用された「若鷹号」が入念に整備され、当時のままの姿で展示されている。

- 最寄り駅 トロッコ嵯峨駅(駅構内) ●開館日 トロッコ列車の運転日
- 開館時間 9:00~17:00
- 入場料 無料

15



岡山電気軌道

おかでんミュージアム+水戸岡鋭治デザイン

工業デザイナー水戸岡鋭治氏が設計を担当したミュージアム。大人気のTVアニメ「チャギントン」を大型スクリーンで楽しめるシアタールーム、水戸岡氏デザインの車両やチャギントンのプラレールで遊べるプレイルームなどがある。関連会社の和歌山電鐵の「たまグッズ」や岡山電気軌道のグッズも販売。

- 最寄り駅 東山・おかでんミュージアム駅(岡山電気軌道南車庫内に併設)
- 開館時間 10:00~16:00 ●休館日 毎週火曜日、お盆・年末年始
- 入場料 大人1,000円 小人500円

16



伊予鉄道

坊っちゃん列車ミュージアム

1887年の創立以来、積み重ねてきた伊予鉄道の歴史を紹介するミュージアム。館内には、創業時から約67年間、松山平野を走り続けた「坊っちゃん列車」原寸大レプリカを展示。これまで公開されることがなかった鉄道ファン垂涎のレアな車両部品・資料(順次入れ替え)も間近で見ることができる。

- 最寄り駅 松山市駅(伊予鉄グループ本社ビル1階)
- 開館時間 7:00~21:00 ●休館日 年中無休
- 入場料 無料

17



長崎電気軌道

長崎路面電車資料館

「今昔写真」や「年表」、「路線変遷図」などを通して、1915年の開通から近年まで、路面電車と長崎の街の歴史を学ぶことができる。車両部品等も多数展示。開通時に走った1号車運転台の実物大レプリカでは、ハンドル操作体験や記念撮影もできる。車両メーカーが製作した超低床式車両3000形ミニ電車(約10分の1スケール)も展示。

- 最寄り駅 浜口町停留場(長崎西洋館3階) ●開館時間 11:00~17:00
- 休館日 長崎西洋館休館日
- 入場料 無料

鉄道ミニギャラリーと 車両の静態保存

—— 地域と鉄道の「記憶」を保存する。

駅の待合室などを活用して設けられたギャラリーや展示施設。
ホームや車両基地に保存された数々の名車両。
決して大掛かりなものではなく、また限られたコレクションではあるが、
民鉄は地域と鉄道の「記憶」を大切に保存している。

1 ミニ資料館・展示施設

18



青い森鉄道

1922年に開設された向山駅。旧国鉄時代に向山駅で使用されていた鉄道関連用具など、鉄道ファン垂涎の珍品、名品を集めた手づくり博物館が開設されている。寄贈品を含めた数百点に及ぶ展示品のほか、鉄道ジオラマも常設されている。管理者/向山駅愛好会

向山駅ミュージアム

●最寄り駅 向山駅 (旧事務室内) ●開館時間 9:00~16:00 (12月~3月は10:00開館) ●開館日 土・日・祝日 (不定休あり) ●入場料 無料

19



富士急行

寝台特急「富士」で使用された客車と同型車両のほか、富士急行線で活躍した旧フジサン特急展望車両、貨車などを展示。土休日には、使用当時のまま保存されたブルートレインの車内に入ることもできる。

下吉田ブルートレインテラス

●最寄り駅 大月線 下吉田駅 (ホームに併設) ●営業時間 10:00~16:00 ●休館日 毎月第1月曜日 (祝休日の場合は翌日) ●入場料 100円 (富士急行線内で有効な乗車券を持っている場合は無料)

20



上田電鉄

1963年に廃止された西丸子線下之郷駅待合室を改修、2007年に開設された。上小地域で運行していた西丸子線、丸子線、真田傍陽線、別所線の懐かしい写真や資料、駅名看板など、地域の思い出の品々が展示されている。

鉄道資料館

●最寄り駅 下之郷駅 ●開館日 イベント開催時に開館 ●入館料 無料

21



長野電鉄

1964年から48年間にわたり活躍した、長野電鉄のオリジナル特急車両2000系D編成が静態保存されている。当時の姿そのままに保存展示されており、先頭車に限り、車内の見学もできる。

ながでん電車の広場

●最寄り駅 小布施駅 (1番ホーム隣) ●営業時間 駅営業時間内 ●休館日 年中無休 ●入場料 入場券 (または当日有効の乗車券)

22



北陸鉄道

石川線鶴来駅の待合室に設置されたミニギャラリー。かつて使用していた方向板・鉄道電話・スタッフ閉塞キャリアーなどの鉄道用品、車両模型・写真の展示コーナーが設置されている。

ほくてつミュージアム

●最寄り駅 石川線 鶴来駅 (駅待合室) ●営業時間 駅営業時間内 ●休館日 年中無休 ●入場料 無料

23



大井川鐵道

SLの部品のほか、ナンバープレートや実際に使用したヘッドマークなどSLに関する資料が所狭しと展示されている。大井川鐵道の年表や写真も併せて展示され、手元のレバーで模型が操縦できる鉄道模型ジオラマも設置。

SL資料館

●最寄り駅 大井川本線・井川線 千頭駅 (駅付属) ●開館時間 9:00~16:00 ●休館日 トーマスフェア開催中は休館 ●入場料 小学生以上100円

24



南海電気鉄道



高野山駅2階 資料展示コーナー

「高野山駅の駅舎の歴史」「昭和天皇后陛下の行幸啓」など、南海電車と高野山の歴史を映像やパネルで紹介。また、スイスの三大観光特急の一つ「ゴールデンパスライン」を運行するモントルー・オーベルラン・ベルノワ鉄道との姉妹鉄道協定を記念して贈呈された鉄道模型などを展示している。

- 最寄り駅 鋼索線（ケーブルカー）高野山駅（駅舎2階）
- 開館時間 鋼索線営業時間内
- 休館日 年中無休
- 入場料 無料

25



南海電気鉄道

南海思い出ミュージアム

ホームでは、レールを固定するために使われた犬釘や実際に車両に取り付けていた社草、さまざまなメーカーの古レールなど秘蔵品を展示。上屋に使用している外国製の古レールは製造会社の刻印等を研磨し、読みやすくしている。

- 最寄り駅 高野線 高野下駅（ホーム上）
- 開館時間 駅営業時間内
- 休館日 年中無休
- 入場料 入場券（または当日有効の乗車券）

26



阪神電気鉄道

阪神電車まなび基地

阪神電車をはじめ鉄道についての理解を深めてもらうことを目的に、2015年から小中学生を対象に、無料で体験型の親子見学会等を開催している。鉄道の歴史をまとめた展示パネル、大正・昭和期に活躍した旧型車両や踏

切設備等を使って、阪神電車の歴史と取り組み、安全運行を支える鉄道の仕事、交通ルールなどの学習を一体的に行っている。また、隣接する阪神野菜栽培所の見学では、水耕栽培の仕組みや成長過程を学ぶことができる。

- 最寄り駅 本線 尼崎センタープール前駅（高架下、徒歩約3分）
- 開館日 不定期で親子見学会等を開催（無料）

2 静態保存車両

27



公開イベント時に撮影

横瀬車両基地

- 最寄り駅 西武秩父線 横瀬駅
- ※原則非公開（鉄道イベント開催時等に一般公開）

西武鉄道

除籍車両の保存留置と車両の解体作業を実施している。保存車両はE71・E854など機関車7両、355系・5000系など電車6両ほか合計15両。保存車両は常時シートをかけ留置している。

28



資料写真

保谷電留線

- 最寄り駅 池袋線 保谷駅
- ※原則非公開。

西武鉄道

旧保谷車両基地。2000年、武蔵丘車両基地の開所に伴い、電留線となった。E11形電気機関車12号機と、5形蒸気機関車5号機を静態保存している。保存車両は常時シートをかけ留置している。

29



2代目スカイライナー (AE100形)

●最寄り駅 本線 宗吾参道駅
※原則非公開 (鉄道イベント開催時等に一般公開)

京成電鉄

1990年に就役し、2016年に引退した2代目スカイライナー AE100形(写真)を2017年より宗吾車両基地に保存。日本初の空港特急初代スカイライナー旧 AE形、地下鉄相互乗り入れ車両の旧3000形をはじめ200形なども併せて保存している。

30



ロマンスカー SE (3000形)

●最寄り駅 小田原線 海老名駅 (海老名電車基地)
※原則非公開 (鉄道イベント開催時等に公開される場合もある)

小田急電鉄

1957年に就役し、当時の狭軌スピード世界一を記録。パーミリアンオレンジを基調とした塗色と流線型のスマートなスタイルは特急車両の先駆けとなった。1992年引退。

31



京浜電気鉄道 デ51形&湘南電気鉄道 デ1形

●最寄り駅 久里浜線 京急久里浜駅 (徒歩15分、京急ファインテック久里浜事業所)
※原則非公開 (鉄道イベント開催時等に公開される場合もある)

デ51形は、京急の前身である京浜電気鉄道が日本で最初に製造した半鋼製車体電車である。1964年廃車時のクハ141(写真)を、創立80周年を記念して復元保存している。同じく前身の一つである湘南電気鉄道のデ1形も復元保存している。管理者/株式会社京急ファインテック

32



ケハ 601 & キハ 203

●最寄り駅 那珂湊駅 (駅から徒歩5分)
●見学可能時間 土曜日 9:00~14:00 (要事前予約) ※敷地外からの見学撮影は常時可能。

ひたちなか海浜鉄道

浜線で活躍を終えたケハ601(1992年廃車)、キハ203(2006年廃車・写真)を静態展示。那珂湊駅にて、おらが湊鉄道応援団スタッフに見学を申し出るか、車前に見学を予約する。

33



デキ1形電気機関車

●最寄り駅 高崎駅
※原則非公開 (鉄道イベント開催時等に一般公開)

上信電鉄

1924年にドイツのシーメンスシュケルト社から購入した。貨物列車牽引に長年使用していたが、1994年の貨物輸送廃止に伴い、定期運行を終了。その後はイベント列車として運行してきたが、現在はイベント開催時に一般公開している。

34



デキ3形電気機関車&デハ801

デキ3 ●最寄り駅 仲ノ町駅 (仲ノ町車庫)
デハ801 ●最寄り駅 外川駅

銚子電気鉄道

1923年製のデキ3は、日本一小さい凸型電気機関車(写真)。入線当時のままの姿で保存している。1950年製のデハ801は「デハ801を往年の姿に!」車両修復プロジェクトで修理を施し、無料で一般公開している。

35



小湊鐵道蒸気機関車

●最寄り駅 五井駅 (五井機関区構内)
●見学可能時間 9:00~16:00 (車輛課事務所に申し出)

小湊鐵道

千葉県指定文化財に登録された蒸気機関車3両を保存。1号、2号機関車は開業前年の1924年に米国から輸入。B10-4は1894年英国製で、1950年まで使用していた。

36



303号車 運転台カットモデル

●最寄り駅 江ノ島駅 (上りホーム待合室)

江ノ島電鉄

2007年に運用を終了した303号車の運転台カットモデルが展示されている。プラレールのジオラマ、1001号車の模型、電車のヘッドマークなども併せて展示。

37



500形 運転台カットモデル

●最寄り駅 湘南深沢駅 (湘南モノレール車両基地)
※原則非公開 (鉄道イベント開催時等に一般公開)

湘南モノレール

2016年に引退した500形車両のカットモデル。運転台部分をカットし、シート、運転台周辺機器、計器、スイッチ類等がそのままの状態で見学されている。

38



急勾配路線用車両 モ1号

●最寄り駅 河口湖線 河口湖駅 (駅前ロータリー)

富士急行

富士急行の前身である富士山麓電気鉄道が1929年開業の際に新造した車両で、急勾配対策を施した当時の最新鋭車両だった。駅前ロータリーにて静態保存している。

39



上田電鉄

1927年に日本車輛で3両製造、戸袋窓が楕円形をしていることから「丸窓電車」の愛称で親しまれたモハ5250型。1986年に引退し、静態保存されている。

丸窓電車 モハ5250

●最寄り駅 別所温泉駅（駅構内）
※イベント開催時には車内開放。

40



岳南電車

貨物輸送営業時に活躍した入換機関車ED501（写真）が留置され、ホームから見える富士山をバックに写真撮影ができる。ED402、ED403、ED291も見学可能。

貨物入換機関車 ED501

●最寄り駅 岳南富士駅（駅構内）

41



三岐鉄道

駅舎プラットホームの一部を利用した駅前公園に、三岐線創業時に新造された蒸気機関車E102号機、電気機関車ED222号機、ディーゼル機関車DB25号機の3両が展示されている。

E102号機・ED222号機・DB25号機

●最寄り駅 三岐線 西藤原駅（西藤原駅前公園）

42



えちぜん鉄道

1920年製造の電気機関車。勝山ー福井間の貨物輸送に使用されたもので、動態可能な電気機関車としては日本最古級（3番目）といわれる。梅鉢鉄工場製。

電気機関車 テキ6

●最寄り駅 勝山永平寺線 勝山駅

43



近畿日本鉄道

1914年、近鉄の前身・大阪電気軌道が上本町（大阪）ー奈良間の開業に備えて新造した木造電車。1965年に復元され、五位堂検修車庫で展示保存されている。

大阪電気軌道デボ1形

●最寄り駅 大阪線 五位堂駅（徒歩10分、五位堂検修車庫内）
※「さんてつ鉄道まつり」開催時に見学可能。

44



阪急電鉄

貴重な旧型車両の現車を保存している。1形、10形、600形は静態保存。P-6（116号車）、900形は動態保存車両として復元した。そのほか920系などがカットボディで保存されている。

正雀工場・正雀車庫

●最寄り駅 京都本線 正雀駅（正雀工場・正雀車庫）※阪急レールウェイフェスティバル（5月・10月、事前応募制）で公開 ※正雀工場見学（10名以上の団体、要予約）

45



山陽電気鉄道

1962年に製造された、日本初のアルミニウム合金製車体である2000系2012号編成（写真）を静態保存している。また、1936年に7両製造された200形車両の1両、206号も原型に復元して静態保存している。

2000系 2012号編成 & 200形 206号

●最寄り駅 本線 東二見駅（徒歩5分、東二見車両工場・東二見車庫）
※山陽鉄道フェスティバル（10月）で一般公開。

46



一畑電車

1928年製造の日本最古級のオリジナル車両。2009年3月に営業運転を終了、引退後、映画「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」（配給：松竹、2010年）に出演した。

デハニ50形 52号車

●最寄り駅 大社線 出雲大社前駅
※見学時間 8:00～18:00

47



伊予鉄道

わが国に現存する最古の軽便機関車。夏目漱石の小説「坊っちゃん」で、マッチ箱のような汽車と紹介され親しまれている。日本国有鉄道から鉄道記念物に、愛媛県から有形文化財に指定されている。

伊予鉄道 1号機関車

●最寄り駅 高浜線 梅津寺駅（梅津寺公園） ●入園料 100円
●開園時間 9:00～17:00 ●休園日 毎週木曜日

48



熊本電気鉄道

1928年製造のモハ71形を再整備して、動態保存されている。2016年、惜しまれつつも引退した5000形5101A号車（元東急5000系「青ガエル」・写真）もクラウドファンディングにより再塗装して保存されている。

モハ71形 & 5000形 5101号車

●最寄り駅 菊池線・藤崎線 北熊本駅（車両工場内）
※鉄道イベント（10月）開催時等に一般公開。